

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービス未起		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 1日	～	令和7年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 10日	～	令和7年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	敷地の広さ(約650㎡)の中で行う農作業(農育) 育てた野菜や果物の収穫して行う調理(食育) 広島県産の檜の無垢材を使ったフローアーや玩具(木育)	利用者さんには季節を感じて頂ける様に季節に合わせた 野菜や果物を育てて収穫する・そして調理して楽しむ事を通 じて自立に向けての力を養っていきます。	利用児童さんの年齢も上がってきたので 農機具(耕運機や給水ポンプ)を使った農育を行 って行く為安全面の配慮や農機具の使い方の 解りやすいレクチャー等を考え取り組んでいます。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	パソコンなどの操作が出来ない職員さんが多くい事です。 ZOOM等の研修や発信は児発管以外出来ない現状です。	職員さんの年齢層が高い事が一つの要因と考えています。 伝えた内容が次の日には半分以下の記憶しか無く、 開所より7年目にしてやっと記録を手書きからエクセルに 変えていく事が出来ました。	毎日少しずつパソコンの使い方を伝えて行き、 毎日パソコンに触れて貰い、解らない事はすぐに 教えていく事を繰り返しながら改善に向けていきます。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数	
放課後等デイサービス未起		れいわ7年3月10日				9	
		利用児童数		令和7年1月10日		14	
						回収数	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
		環境・体制整備	1	7	0	0	2
	2	4	2	1	2	どの放課後等デイサービスさんも多いのであまり変わらない。	職員さんと利用者さんの比率が1:3以上にならないように配置をします。引き続き継続して行きたいと思いま
	3	8	0	0	1	バリアフリーにはなっていました。廊下の幅も椅子が通れるだけの幅がありました。	一か所狭い所は有るのですが、車椅子は通れます。
	4	5	1	2	1	建物も新しく中もきれいでした。	引き続き清潔且つ心地よく過ごせる環境を維持していきたいと思います。
適切な支援の提供	5	4	4	1	0	専門性というよりは楽しく通っている印象があります。	ありがとうございます。楽しさの中にもっと明確な専門性を追及してまいります。
	6	2	2	1	4	合っているとは思いますが、正直あまり良く解らないです。	ご迷惑をお掛けしております。ご理解頂ける丁寧な説明を行ってまいります。
	7	6	0	0	3	解らない部分もありますが、希望していた事が計画に入っていて作成しています。	引き続きご納得いただける様にリアルニーズに沿った個別支援計画を作成していきたいと思います。
	8	2	0	0	7	正直質問の内容が解らないです。説明を受けた時に聞いた言葉ですが、何が移行支援なのか解らなかったです。	ご説明に不備が有りご不便をおかけしております。どのようにご説明を行ったら良いか検討してまいります。
	9	5	2	0	2	子供から話を聞くと計画に沿った支援になっていると思えます。	ありがとうございます。引き続き継続して行きたいと思います。
	10	6	1	0	2	季節に合わせて活動を行っている事が連絡ノートより確認させていただきます。	ありがとうございます。引き続き継続して行きたいと思います。
	11	2	2	2	3	知らない子がいたと子供から何回か聞いたことが有ります。そのことでしょうか？	仰る通りでございます。ただ、放課後児童クラブ等との交流はまだ行っていない現状が有ります。
保護者への説明等	12	5	1	1	2	説明は受けました。児童発達に通っていたので大体解るので	児童発達に通っていないかった保護者様にも容易に理解出来るようにしていきたいと思います。
	13	9	0	0	0	説明を受けました。働いているので未起に行けませんでしたが送迎の際に聞けました。	保護者様の就労による時間の都合上本来なら事業所で行うべきなのですが、申し訳ありません。
	14	4	2	1	2	何度か保護者向けの研修の資料が送迎の時に頂いたと思えます。時間が合わず	引き続き継続させて頂けたらと思えます。
	15	6	1	1	1	看護師さんが多い所なので健康面や怪我をした時などの対応が安心できます	発達面についての共通理解という面において不十分な部分があり、申し訳ありません
	16	3	3	0	3	面談は中々時間が合わないので定期的ではないですが、何か変化などがあると	こちらの時間が合わない事も有り、ご迷惑をお掛けしております。
	17	4	1	2	2	支援をしてきている職員さんによってそう感じる時とそうでない時が	職員間での関り方の共有や支援の行い方育成についての徹底を行いたいと思います
	18	5	2	0	2	川遊びや映画鑑賞等開催してくれました。	まだまだ小規模且つ限定的な活動となっておりますので、引き続き継続を行いつつ規模を拡張していきたいと思えます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1	0	4	電話をかけて相談した時の対応してくれました。教えてくれたことも適切だったと思います。	ありがとうございます。引き続き継続して行きたいと思います。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	2	1	1	連絡ノートでのやり取りで確認しています。	ラインなどのやり取り程早くはないですが、このような方法で情報の伝達を継続して行きたいと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	4	3	0	活動内容や行事予定などはノートに書いてくれます。自己評価はホームページで確認しました。	ただいまホームページのアップロードに向けて動いており、4月か5月にはホームページが仕上がる予定です。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	0	2	0	7	どのように管理されているのかは説明がありましたが、詳細については解らないです。	風通しの良い情報提供を行わせて頂けたらと思います。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	0	0	3	連絡ノートでのやり取りで確認しています。	引き続き継続させて頂けたらと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	0	0	2	連絡ノートでのやり取りで確認しています。	引き続き継続させて頂けたらと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	3	2	1	正直良く解りません。説明は受けたと思います。	ご説明に不備が有りご迷惑をおかけしております。どのようにご説明を行ったら良いか検討を重ねてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1	0	1	契約時に看護師さんが複数人いると聞いていたので病気や怪我については安心しております。	引き続き安心して通って頂けるよう継続してまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	1	0	0	時々お友達とトラブルに成る事が有りますが、安心して通っていると思います。	ありがとうございます。引き続き安心して通って頂ける様継続して行きたいと思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	2	1	1	子供から今日未起の日？と聞いて来るので楽しみにしていると思います。	ありがとうございます。引き続き楽しんで頂ける様支援を継続させて頂けたらと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	1	0	2	子供が楽しんで通っているので概ね満足しています。他の事業所の様に	ご不便をお掛け致しております。端末でのやり取りを望まない方もおられ只今調整をしています。今暫くお待ち頂けたらと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年3月10日				
放課後等デイサービス未起						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	指導訓練室については既定の㎡数より大きく必要に応じては敷地の庭や畑も有り、活動においての十分なスペースが有る。	書類の保管や資料の保管のスペースの確保により圧迫感を感じないような荷物の配置が必要と思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	職員一人の割合が1:3を超えないような配置を心掛けしております。	利用児童さんのニーズにそう形を取ると時として1:3の配置が偏ってしまうことが有ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	医療ケアの児童さんを受け入れられる環境を整備しており、車椅子での利用も可能です。	環境上の配慮においてもう少しきちんとしたものが提供していけるよう引き続き改善していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	毎日の清掃は勿論の事、グループ分けを行う事により指導訓練室を分けて活用し、必要に応じては敷地内の庭や畑を活用しています。	引き続き利用児童さんが心地よく過ごして行ける様に配慮していきたいと思えます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	指導訓練室以外の部屋については事務室と静養室が有ります。必要に応じて解放出来る環境にあります。	部屋の構造上、パーティションの活用等で部屋を区切るなど行って行けるかが今後の課題になります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	個別に目標と設定は取り組めており、振り返りも職員同士で行えています。	振り返りの回数が少なくなっている事が有るので安定して振り返りが行える環境を作っていきたいです。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3	評価表の集計が終わり次第取り組ませて頂いています。	意向を把握して業務改善に繋げる迄のタイムラグが長い事が課題です。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	定期的に話し合いを行える場を設けています。業務に繋げる事も行えています。	時間の都合上、話し合いを行うメンバーが固定化されており、非常勤の方が話し合いに入れていない現状が有ります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	定期的に外部評価を行っていますが、業務改善に繋がる事が少ないです。	他の職種の方をお願いしている現状から同業者への依頼を検討しています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	昨年より外部講師を及びして小規模では有りますが、事業所内研修を行ってます。	講師の方との日程調整や研修の内容の充実が今後の課題となります。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	概ね行えています。	引き続き作成と公表に取り組みさせていただきます
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	2	相談支援事業所の方との連携を定期的に取りリアルニーズに沿った計画を作成しています	相談支援専門員さんに依存している事が多いので、自発的に行って行ける様にしていきたいと思えます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	2	原案作成の際には職員皆の意見を取り入れて計画の作成に取り組んでいます。	時間の都合上、非常勤の方の参加が困難な事が有るので日程調整や時間調整が今後の課題と考えています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	3	記録を一人一人に別けてファイリングしており、いつでも計画を確認していく事が出来ます。	セキュリティーと経年劣化が課題と考えております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3	ウィスクを活用したアセスメントは良く行います。インフォーマルなアセスメントは各自で行っている為固定化されています。	自由度の高いインフォーマルなアセスメントに対するの評価は経験豊富な職員が行っている現状が有ります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	ご本人さんの支援は勿論の事、家族支援や移行支援についても保護者様との日程調整を行いながら取り組んでおります。	経験の浅い職員さんにおいては余り活用できていない現状が有ります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	管理者を筆頭にチームで行っています。	固定された意見が多くなってきています。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	2	季節ごとの支援プログラムを構築している為固定しにくい環境に保っています。	新しい取り組みを行う際に意見が分かれてしまう事が有ります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	3	個別より集団に重点を置いて計画を作成し支援に繋げています。	個別支援においての実績が少なく集団での考え方に語っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	支援前の打ち合わせは欠かさず行ってます。グループ分けを行い個々で活動するときも各々が役割分担をこなしています。	自分の役割はこなせているが、想定外の対応が出来なかつたり汎用性の無さが観られています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	非常勤の方は参加出来ない事が有りますが常勤職員さんは参加できてます。	非常勤の方の参加が出来る様に環境を整えて行けたらと考えています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	定期的に行えています。	引き続き続けてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	2	相談支援専門員さんに依存している所は御座いますが、定期的に計画の見直しを行っています。	相談支援専門員さんに依存している現状を自分たちで発信してモニタリング等を行って行ければと思います。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	2	創作活動や余暇活動の提供及び自立に向けての支援は行えています。	地域社会との交流において進展が乏しい現状が御座います。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	2	利用児童さんのしたい事に対して支援する職員さんには流動的動いて貰ってます。	引き続き継続して行きたいと考えています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	児発管と担当者がセットで参加しています。	会議の参加メンバーが固定されている事で新しい意見や見解が乏しい現状が有ります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	医療ケア児の主治医や協力医療機関のDrや学校の先生を中心に連携を行っています。	保育所との連携においては病院や学校より連携はスムーズでは有りません。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	綿密に情報共有を行いトラブルなく行えています。	引き続き継続して行きたいと考えています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	当事業所を利用される際に必ず情報の共有を行っています。	連携を取れるメンバーが固定されている現状から誰でも行ける様に職員さんの質の向上が今後の課題と考えています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	6	まだ事例がないので情報提供の実績が御座いません。情報自体は個別に記録や書類を纏めており情報提供は可能です。	実績を積んでいく必要が有るが、利用児童さんの年齢が低いのが課題となっています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4	連携を密に図り良く助言は頂いております。	引き続き継続して行きたいと考えています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	就学前の児童さんがメインにはなりますが、地域の子供との交流は行えて来ています。	まだ地域の方々から当事業所の療育に対してご理解を頂きにくい現状が御座います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	法人代表及び児発管が積極的に参加をしております。	中堅層の参加を視野に入れながら今後の参加を行っていきたく思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	支援中にいつもと違う行動や言動が有った時には必ず保護者様にお伝えをさせて頂き共通の理解を図っています。	担当の職員のみでの対応となっている為、汎用性をもって、どの職員さんでもお伝え出来る様にしていきたいと考えています。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	研修をご家族に提供する事は良くあるのですが、参加したという報告がない現状です。	事業所の職員と一緒に行くなど家族の方が少しでも参加していけるような関係作りや配慮が必要と思います。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	3	児発管が管理者が行っている事が殆どですがどのご家族もご理解頂いていると思います。	引き続き継続して行きたいと考えています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	3	リアルニーズを意識して支援の方向性を考え、保護者様に理解して頂いております。	中堅層の参加を視野に入れながら今後の参加を行っていきたく思います。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	2	児発管より説明をさせて頂いております。	就労の理由から中々お時間を頂き難い現状が御座います。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	3	基本的には児発管及び動続年数の長い職員さんが対応しております。	時間の都合上電話での対応が多くなってます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	2	中々保護者様とおしの時間が合わなくて回数自体は少ないですが、一緒に映画に行ったり・イベントの参加や川に遊びに行ったことも有ります。	少し開催期間の調整が不十分なのかもしれないので、開催までの期間に十分な余裕を持って行ける様に配慮して行きたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	3	理事長を筆頭に原因の究明と謝罪改善に繋げて行きます。	苦情を受けた職員さんの対応が不十分だと保護者様の対応において進展が難しくなってしまう事が有ります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	6	HPやSNSでの活動などの発信を良く思っていない保護者様もいて、行えてません。連携体制については確立してあります。	引き続きご理解頂ける様にしていきたいと思えます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	理事長管理の基徹底しております。	理事長不在の際に必要な情報が引き出せない時が有ります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	3	日頃より連絡ノートにてやり取りを行い意思の疎通を図り、必要に応じて必要な配慮をさせて頂いております。	引き続き継続して行きたいと考えています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	放課後等デイサービスの活動においてまだご理解を頂けない方も多く、招待する迄の関係が築けていません。	引き続き地域の皆様にご理解を頂き事業所への招待に発展
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	職員さんへ周知は徹底しております。訓練も行っています。	ご家族への周知の進展が今乏しいです。予定の調整等が今後の課題です。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	3	非常災害時の訓練を始め定期的に行っています。	非常勤さんの参加が乏しく、常勤職員で行っている為、日程調整で改善して行けたらと考えています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	看護師を筆頭に管理を徹底しております。	引き続き継続して行きたいと考えています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	現在食物アレルギーの利用者さんは居ませんが看護師の配置によりいつでも対応できる環境を整えています。	引き続き継続して行きたいと考えています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2	外部の講師を招いて訓練を行い研修も参加できています。	引き続き継続して行きたいと考えています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3	概ねお伝えは出来ています。	お伝えは出来ていますが手ごたえが薄い印象を受けます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	ヒヤリハットについては、報告があった当日もしくは翌日には検討会を開いています。	改善策が見つからない事例の時に長々と時間を取ってしまう、他の業務に支障が出てしまう事が有ります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	2	積極的に研修に参加しフィードバックを行っています。	引き続き継続して行きたいと考えています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	研修には職員一同参加できております。身体拘束においては提携病院が精神科という事も有り施術の行い方も熟知しています。	身体拘束の手技において個人差が激しく実際行うとなると看護職員になってしまうと思われれます。	